



## 「わたしに従ってきなさい」

～人生を変えたイエスとの出会い～

<sup>4</sup> 話しが終わると、イエスはシモンに言われました。『さあ、もっと沖へこぎ出して、網をおろしてごらんなさい』<sup>5</sup> 『でも先生。私たちは夜通し一生懸命働きましたが、雑魚一匹とれなかったのです。でも、せっかくのお言葉ですから、もう一度やってみましょう』<sup>6</sup> するとどうでしょう。今度は網が破れるほどたくさんの魚がとれたのです。…<sup>8</sup> シモン・ペテロは、あわててイエスの前にひれ伏し、『先生。どうぞ私みたいな者から離れてください。私は罪深い人間で、とてもおそばには寄せません』と叫びました。…<sup>10</sup>…イエスはシモンに、『こわがることはありません。あなたは今からは人間をとる漁師になるのです』と言われました。<sup>11</sup> 岸へ上がると、彼らはすべてを捨てて、イエスに従いました。」

ルカ福音書5章4-11節リビングバイブル

ヨハネ21章はどうして存在するのか？20章でイエス様の復活がなされて、キリスト教が最も大切にしている「復活信仰」による永遠の希望が語られて、そこでヨハネ福音書が閉じられていても良いと思うのですが、最後に付録のようにこの21章が付け加えられています。

でも、実はヨハネが最も伝えたかった結論がこの21章で表現されているように思います。イエス・キリストの十字架による救い、そして、復活による永遠の希望。これがキリスト教の核心ですが、そこで終わってしまったら世界第一宗教、人類に最も影響を与えた宗教であるキリスト教の素晴らしさだけで終わってしまいます。しかし、ヨハネはそこで終わってしまったのはイエス様の伝えたい命懸けのメッセージが私たち一人一人に伝わらないと考えました。そして、この21章を記しました。

海に出て漁をするということは弟子たちにとっての日常の世界です。その世界を主がご覧になっていて、お声をかけてくださる。そして、私たちの生活、仕事を大いなる神の祝福で満たそうとしておられる。その日常であなたの人生を主に任せる。主に従うという世界です。

十字架で救いを全うし、死からよみがえられて、今も生きておられる私たちの主は今天におられます。あたかも私たちの人生の湖の岸に立っておられるようにして…。かつては共に舟に乗り、共に嵐を経験され、共に上手いかない現実を目にされ、その中で奇跡を通して導いてくださいました。その主が今度は、私たちの人生の荒波、生活の現場の少し外側から、お声をかけて応援し、導いてくださる。「今度はあなた方自身で私の声を聞きながら、人生の戦いを乗り越えていくのだよ！」と言わんばかりに見つめていてくださっている。「あなたの将来には希望がある！」とおっしゃってくださる主は、あなたの人生の導き手となっております。さあ、共にこの豊かな愛のお方にあなたの人生のすべてをお任せしてみませんか？